

2023年5月24日  
日本郵便株式会社  
日本郵便輸送株式会社

リニューアブル・ディーゼル燃料の利用可能性に向けた実証実験開始  
～2050年のカーボンニュートラルを目指して～

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 衣川 和秀／以下「日本郵便」）と日本郵便輸送株式会社（東京都港区、代表取締役社長 原口 亮介／以下「日本郵便輸送」）は、カーボンニュートラルに向けた取り組みの一環として、リニューアブル・ディーゼル燃料（以下「RD 燃料」）<sup>（注）</sup>の利用可能性を確認するための実証実験を行い、下記のとおりラッピングを施した車両の運行を開始します。

今後も、全国約 24,000 の郵便局ネットワークを活用し、地域社会への貢献や、SDGs などの社会的な課題に取り組むことにより、日本郵政グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の創出を図ってまいります。

記

- 1 運行営業所  
日本郵便輸送海老名営業所（神奈川県海老名市中野 3-15-2）  
※ 一部の車両に限ります。
- 2 運行区間  
神奈川西郵便局と当該郵便局受持ちの各郵便局との相互間における局間輸送
- 3 運行期間  
2023年5月24日（水）から当面の間
- 4 RD 燃料専用車両の外観



（注） 廃植物油などを原料としたバイオディーゼル燃料の一つで、「地球温暖化対策の推進に関する法律」上、CO2 排出量はゼロ（カーボンニュートラル）となります。

## 5 今回の実証実験の目的

政府が2050年カーボンニュートラルを目指すことを発表したことを受け、日本郵政グループでは、温室効果ガス排出量の削減目標（2050年カーボンニュートラル、その中間目標として2030年度46%削減（2019年度比））を掲げています。

この目標達成に向けて、施設設備の改修（LEDや高効率空調）や集配車両をEVに切り替えるなどの対策を進めているところです。

今回、トラックのカーボンニュートラルに向けた対応策の一つとして、CO<sub>2</sub>を大幅に削減できるとされるRD燃料を検討すべきものと考え、実運用した際の問題点がないかを実証実験という形で確認していくものです。

以 上